

最優秀・優秀作品紹介

今夏に商品化

しじら織クールビズコンテスト

徳島県特産の阿波しじら織を素材にした女性用クーリエスのデザインコンテスト(国府町商工会主催)が、北島町のフジグラン北島であった。最優秀賞に選ばれた服飾デザイナー岡久献司さん(27)と陸住町住吉の「クールビューティー」の「クールビューティー」と、優秀賞の9作品を紹介する。10作品は今夏に向けて商品化される。

コンテストでは、全国から応募された85点のうち、1次審査を通過した10点がファッションショー形式で披露され、公開審査が行われた。最優秀賞の「クールビューティー」は、シャツを格好よく着こなす女性をイメージしてデザインしたチュニックシャツ。涼しげな縦ストライプの入った白い生地を用い、後部にギャザーを入れて女性らしさを表現した。岡久さんは「女性らしいふわっとしたデザインにしたかった。素材に白を選んだことで夏らしい雰囲気が出せた」と笑顔を見せた。審査委員長を務めた石井町出身の服飾デザイナー右原マモルさんは「この作品も通気性が良くて軽い、しじら織の特徴をよく生かしていた。何より、多くの人がしじら織の魅力を知り、愛着が芽生えたことがうれし」。阿波しじら織協同組合の長尾藤太郎理事長は「デザイン化されると非常にうれしい」。阿波しじら織協同組合の長尾藤太郎理事長は「デザイン化されると非常にうれしい」と話した。

クールビューティー

岡久献司さん



(写真はすべてモデル)



サファリ Mix

島本幸代さん(徳島市)

都会的なサファリスタイル。しじらのさわやかさを出すため、スレンダーな見頃に大きめのスタンドカラーを合わせ、機能的でファッションナルに仕上げた。



〇風ファッション

石橋奈々さん(小松島市)

着やすいチュニック丈で襟元はシンプルに。シャツの腰回りにベルトをすくすくセントになる。



Water Flow(水の流れ)

野萩節さん(東京都)

反物の直線を生かし、タックをとって美しい縦のラインを強調。藍の鮮やかな色を水になぞらせている。



Summer Set Up

長岡温子さん(大阪市)

しじら織の軽くて着やすい素材だからこそ可能な夏でも着られるジャケットとパンツのセットアップ。素材とシルエットの意外な相性を楽しみたい。

全体をシンプルな雰囲気にして、大きな襟で特徴を出した。袖を少し長めにし、ゆとり着られるようにしている。

THE・N風味

石橋侑子さん(小松島市)



クールビズ、阿波の伝統にユニバーサルデザインを加えた。曲線とひらひら感でやわらかさと涼しさを出した。

ビジネスに心地よさを

吉村咲子さん(徳島市)



さらさらサマージャケット

柴折和代さん(北島町)

空気をまとったような軽さで優しさが体験できるように、シンプルで丈夫な感じに作った。



ポロ襟フルオーバー

大和典代さん(小松島市)

裾ポケット口にニット素材を使うことで、着心地の良さをアピール。六分袖をロールアップすると半袖になるので、初夏から夏まで着用することができる。



Summer style

勝見洋子さん(大阪市)

若い世代でも着ることがのできるタウンウェア。しじら織の模様をうまく使い、夏でも快適に過ごしやすいデザインにした。